亀岡市における防災対策の現状と課題等について

資料３

１　亀岡地域の特徴

　○　亀岡盆地のほぼ中央を一級河川桂川が流れ、桂川に流れ込む多くの支川が点在する。その周辺地域には田園地帯が広がり、河川の浸水想定区域が見られるため、市街地の大部分において河川氾濫による被害のおそれがあると言える。また、山間部では、土砂災害警戒区域内に多くの住家がある地域も見られる。

　○　長年にわたり亀岡市の最重要課題として桂川の治水対策に取り組んできている。平成１０年の日吉ダムの完成と桂川河川改修事業の進捗により、治水安全度は良くなっているが、市民生活の安全安心の確保に向けて、桂川本川・支川における治水対策のさらなる推進が求められている。

２　過去の主な浸水被害発生状況

亀岡市では、桂川において保津峡入口の河道が狭小になっており、過去から水害の常襲地として毎年のように浸水被害を受けてきた。その他にも、昭和２６年の平和池水害では１００人近い人達の尊い命が喪われた。

近年の浸水被害の発生状況は、以下のとおりである。

◯　平成１６年１０月の台風第２３号襲来により、約７０haの農地が冠水し、一部破損３９棟、床上浸水１６棟、床下浸水８５棟の住家被害を受けた。

◯　平成２４年から２６年には、３年連続で水害の被害を受け、平成２４年７月の亀岡・京都豪雨では、局地的な集中豪雨により一部地域で土砂災害が発生し、半壊１棟、一部破損３棟、床上浸水１６棟、床下浸水４９棟の住家被害を受けた。

◯　平成２５年９月台風第１８号によってもたらされた大雨の影響で、昭和４７年９月以来

４０年振りの大規模な水害が発生し、３００ha以上の農地が冠水。半壊３棟、一部損壊５棟、床上浸水１１０棟、床下浸水２６０棟の住家被害を受けた。

◯　平成２６年８月豪雨では、台風第１１号の影響で約７２haの農地が冠水し、半壊１棟、一部破損７棟、床下浸水２０棟の住家被害を受けた。

３　亀岡市地域における防災対策の現状

(1)　亀岡市総合防災訓練（２年に１度実施）

　【平成２９年度】

|  |  |
| --- | --- |
| 名　　称 | 平成２９年度亀岡市総合防災訓練 |
| 主　　催 | 亀岡市防災会議 |
| 日　　時 | 平成２９年８月２６日 |
| 内　　容 | 場所：亀岡市庁舎、市内２３拠点会場、保津橋桂川左岸河川敷訓練内容：風水害対応訓練　　　　　土砂災害対応訓練　　　　　地震対応訓練 |
| 参加人数 | 約２，５００名 |

【平成２７年度】

|  |  |
| --- | --- |
| 名　　称 | 平成２７年度亀岡市総合防災訓練 |
| 主　　催 | 亀岡市防災会議 |
| 日　　時 | 平成２７年９月５日 |
| 内　　容 | 場所：亀岡市庁舎、市内２３拠点会場、大堰川緑地東公園周辺訓練内容：風水害対応訓練　　　　　土砂災害対応訓練　　　　　地震対応訓練 |
| 参加人数 | 約２，２００名 |

　　その他、毎年、各町自主防災会や区ごとに防災訓練や消火訓練などを実施。

(2)　防災講演会・研修会

　【平成２９年度】

|  |  |
| --- | --- |
| 名　　称 | 災害に強い地域づくりのためのワークショップ |
| 主　　催 | 薭田野町自主防災会 |
| 日　　時 | 平成２９年８月２６日 |
| 内　　容 | ワークショップ　・ファシリテーター：(一社)福祉防災コミュニティー協会認定コーチ　前川良栄氏・テーマ：「自主防災とは」 ～魅力ある地域コミュニティを作ろう～ |
| 参加人数 | ５１名 |

【平成２８年度】

|  |  |
| --- | --- |
| 名　　称 | 地域防災力強化事業　自主防災組織等研修会 |
| 主　　催 | 京都府（防災消防企画課） |
| 日　　時 | 平成２９年３月１５日、３月１７日 |
| 内　　容 | ・講演（災害からの安全な京都づくり条例、マルチハザード情報提供システム）・体験訓練（強風、地震、避難等） |
| 参加人数 | 計３６名 |

|  |  |
| --- | --- |
| 名　　称 | 東日本大震災あの日を忘れないメモリアル講演会・研修会 |
| 主　　催 | 京都府南丹広域振興局・(福)亀岡市社会福祉協議会 |
| 日　　時 | 平成２９年２月１２日 |
| 内　　容 | ○講演会　・講　師：農業生産法人ＧＲＡ　橋元洋平代表取締役副社長　 ・テーマ：「東日本大震災を経て いちご農家へ」～ＧＲＡの取り組み～○研修会・マルチハザード情報提供システムについて |
| 参加人数 | 約１００名 |

|  |  |
| --- | --- |
| 名　　称 | マルチハザード情報活用指導員養成研修 |
| 主　　催 | 京都府（防災消防企画課） |
| 日　　時 | 平成２９年２月４日 |
| 内　　容 | ○講演　・講　師：岐阜大学流域圏科学研究センター　小山真紀准教授　・テーマ：防災を取り巻く現状と課題○研修　・防災の基礎知識について　・災害危険情報の共有について　・地域での議論の進め方について |
| 参加人数 | 計１０名 |

|  |  |
| --- | --- |
| 名　　称 | 地域防災力向上シンポジウム ｉｎ　京都　２０１６ |
| 主　　催 | 消防庁、京都府、亀岡市、京都府消防協会、亀岡市防災会議 |
| 日　　時 | 平成２８年９月３日 |
| 内　　容 | ○基調講演・講　師：京都大学防災研究所流域災害研究センター　藤田正治教授・テーマ：土砂災害から身を守る　～避難のためのシミュレーション～○事例発表○パネルディスカッション |
| 参加人数 | 約４００名 |

　【平成２６年度】

|  |  |
| --- | --- |
| 名　　称 | 亀岡市防災講演会（２年に１度実施） |
| 主　　催 | 亀岡市防災会議 |
| 日　　時 | 平成２６年８月３０日 |
| 内　　容 | ○第１部　・講　師：独立行政法人水資源機構　日吉ダム管理所　稲葉所長・テーマ：日吉ダムの管理　～台風１８号洪水での対応～○第２部　・講　師：京都大学防災研究所　気象・水象災害研究部門　中北英一教授　・テーマ：丹波高地が豪雨を招く？　～地形性豪雨と災害～ |
| 参加人数 | 約３００名 |

　(3)　その他の対策

　　　　平成２８年３月　　土砂災害ハザードマップ　作成・全戸配布

　　　　平成２６年１０月　避難所誘導看板設置　市内一円５４６箇所

　　　　平成２１年４月　　地震ハザードマップ　作成・全戸配布

　　　　平成１９年８月　　洪水ハザードマップ　作成・全戸配布

　　　　平成２５年台風第１８号災害を受け、台風襲来時のタイムラインを作成

　(4) 自主防災組織による主な取組

　　　　自主防災会による地域版ハザードマップの作成

（２３自主防災会のうち、これまで９自主防災会が作成）

自主防災会による防災訓練の実施

（土のう作製、土のうの積み方、初期消火、応急手当、炊出し等）

(5) 近年の避難勧告等の発令状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 災 害 名 | 避難勧告等 | 発 令 | 解 除 | 対象世帯数 | 対象者数 | 避難世帯数 | 避難者数 |
| 平成29年台風第21号 | 避難準備（全域） | 10/22 16:00 | 10/23 14:20 | 38,000世帯 | 89,000人 |  4世帯 |  12人 |
| 平成28年台風第16号 | 避難準備（一部地域） |  9/20 11:00 |  9/20 17:30 |  5,252世帯 | 10,504人 |  8世帯 |  13人 |
| 平成26年台風第11号 | 避難準備（一部地域） |  8/10 6:30 |  8/10 16:30 |  1,825世帯 |  4,180人 | 11世帯 |  35人 |
| 平成25年台風第18号 | 避難準備（一部地域） |  9/16 1:30 |  9/16 17:00 |  1,630世帯 |  3,760人 | 90世帯 | 220人 |

４　亀岡市地域の主な課題

　○　避難情報など、緊急時に必要な情報を市民に迅速かつ的確に知らせる必要がある。

　○　市民に対して、あらゆる機会を通じて、防災・減災意識の熟成を図れないか。

　○　水害に関する正しい情報を市民に周知する。

５　今後の目標について

主な課題を踏まえ、亀岡市における防災対策の目標を次のとおり設定する。

　○　防災に関する必要な情報を市民が迅速かつ的確に入手することができる方策を定める。

　○　市民の防災・減災意識の熟成を図る取組内容を定める。

　○　治水対策の進捗状況を検証し、市民に水害に関する正しい情報を周知する。